

民生・家庭部門 10						
削減手段	高効率給湯器への切り替え					
内容・算出根拠	排ガス中の水蒸気から潜熱を回収する高効率タイプの給湯器（潜熱回収型給湯器）に置き換え 給湯需要：10,907MJ/年 従来型給湯器効率：80% 潜熱回収型給湯器効率：95% したがって、1,722MJ/年の削減 LPガスのCO ₂ 排出係数：0.0586 kg-CO ₂ /MJ 都市ガスのCO ₂ 排出係数：0.0513 kg-CO ₂ /MJ					
削減量単位	LPガスの場合：0.10 t-CO ₂ /戸 都市ガスの場合：0.09 t-CO ₂ /戸					
導入コスト	従来機器との差額：60,000円＋ドレン工事費 10,000円 補助金額：34,000円					
費用削減額	ガス代削減額：LPガス 9,970円/年（総務省小売物価統計 05年9月によるLPガス料金：603.1円/m ³ ）、都市ガス 5,520円/年（武陽ガスの一般ガス供給約款における一般契約B表料金：147.4円/m ³ ）					
CO ₂ 削減コスト	耐用年数を考えれば削減コストはマイナス。					
対象	全世帯（太陽熱温水器・コジェネレーションシステム・さらに2020年以降は地域冷暖房導入世帯を除く。ただし、個別給湯器はバックアップとして使用するものとした）					
目標	2010	全戸の 50%	2020	全戸の 100%	2030	全戸の 100%
戸数		13,404 戸		20,014 戸		2,274 戸
CO ₂ 削減量		1,335 t-CO ₂		2,104 t-CO ₂		737t-CO ₂

潜熱回収型給湯器のしくみ（日本ガス協会ホームページより）